

CSR報告書 2019.4-2020.3

ECONOS CSR 2020





Top Message

『2030SDGsで変える』



代表取締役 小川 勲

オガワエコノスは、「三方よし」の精神で、地域に役に立つ仕事、喜んでいただける活動をひたむきに続けてまいりました。おかげ様で今年69年目を迎えることができ、皆様のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

弊社は、企業理念の「Think Globally, Act Locally：地球環境を考えながら足元の小さなことから始める」を実現するため、SDGsを通して、3つの本業である「アクア事業」「リサイクル事業」「再生エネルギー事業」をコアコンピタンスとした環境保全事業の強化、業務以外にも「地域の環境保全を推進する人財の育成」を目的とした環境教育活動『エコノスSEEDプロジェクト』の展開、働き方改革を推し進め、社員が希望と喜びをもって働ける環境や「生きがい」の創出に取り組んでいます。“2030SDGsで変える”をスローガンに10年後に目指す姿として『エコノスのSDGs2030ビジョン』の一端をこの報告書でお伝えしたいと思います。

SDGsはエコノスの「三方よし」の内「世間によし」と共通言語であり、地域、学校、行政などの皆様と連携して取り組むことで、大きな『未来への贈りもの』になると信じています。是非ともご覧いただき、皆様のご意見、ご感想をいただければ幸いです。

今後も「自然にやさしい」「人にやさしい」会社の実現、もっと安心・安全に生活できる世界へ変えることを目指し、真摯に取り組んでいく所存です。

引き続き、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

企業理念

地球環境を考えながら、足元の小さなことから始める

それが、Think Globally, Act Locally

株式会社オガワエコノスは、『Think Globally, Act Locally』を行動指針として、企業理念である『エコロジーをテーマに地域社会と地球の未来に貢献する「自然にやさしい」「人にやさしい」会社』を実現するべく積極的な活動を行います。

経営方針

1.

「買い手よし」「売り手よし」「世間によし」の三方よしを基本原則として企業の社会的責任を果たして、お客様に満足から感動してもらえる会社・社員に成長しよう

2.

“良い社員”“良い仕事”“良い会社”にするために“品質”“品格”を高めて世のため 人のため 社会のために役立とう

3.

お客様目線で物事に対応・解決するためには、謙虚と感謝と学ぶ心をもって“社員力”を向上させよう

行動基準

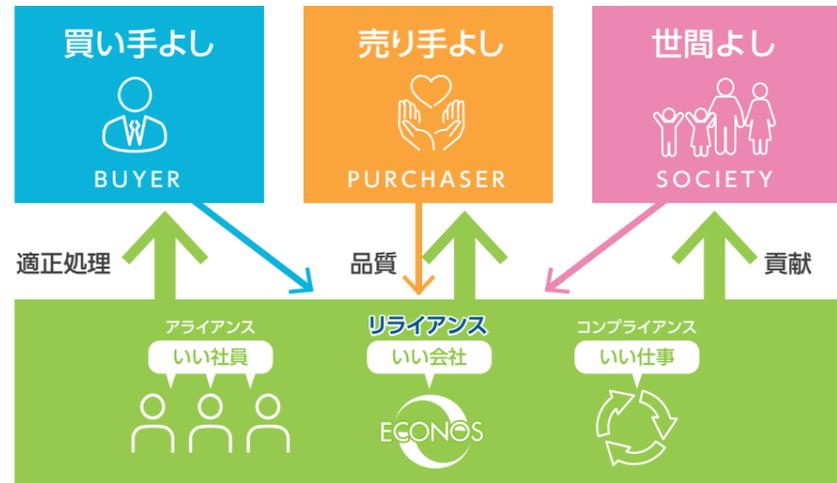
「いい社員」…会社と仕事に誇りを持ち、仕事に喜びや楽しみを見出そう。
「いい仕事」…お客様に喜んでいただく為にはどうしたらいいか、考え行動しよう。
「いい会社」…地域や社会から、任せて安心オガワエコノス、と言って頂ける会社になろう。

2020年度 会社方針

SDGsに取り組み 世のため 人のため 社会のために
エコノスグループのプライドを持って考動しよう



オガワエコノスの三方よし



未来への三方よし

ここに未来がある・・・

SDGsは **世間よし** と共通語です
SOCIETY



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは、2015年国連で開かれたサミットで採択され、世界が合意した2016年から2030年に向けての「持続可能な開発目標」です。達成すべき17の目標と169のターゲットで構成されています。オガワエコノスは持続可能な地域社会形成へ向けて、パートナーシップとアライアンス並びにイノベーションの視点からアプローチし、正に“Think Globally, Act Locally”地球レベルで考え、足元の地域で実践する取り組みを始めています。
※「SDGs (エスディーゼーズ)」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。

オガワエコノスSDGs 行動宣言

オガワエコノスは“Think Globally, Act Locally”を掲げ、『自然と人にやさしい会社を実現する』という理念のもと、適正処理、高品質の事業活動と社会貢献活動を通じて、SDGsの達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指します。

2020年1月1日 代表取締役 小川 勲

重点取組項目

1、コア・コンピタンスとしての環境保全事業の強化

①RPF（石炭代替燃料）製造による環境配慮型再生可能エネルギー利用の促進、 ②適正処理によるリサイクル率の向上、 ③水環境を維持し、河川海洋の汚染防止を事業として、地域の環境保全活動を積極的に行います。

2、地域と連携した環境教育活動の展開

地域・行政・学校等との連携により、『見る、する、考える』環境教育活動（エコノスSEEDプロジェクト）を展開し、『地域や地球の環境保全を推進する人材』の育成を通して、継続的に社会貢献活動に取り組みます。

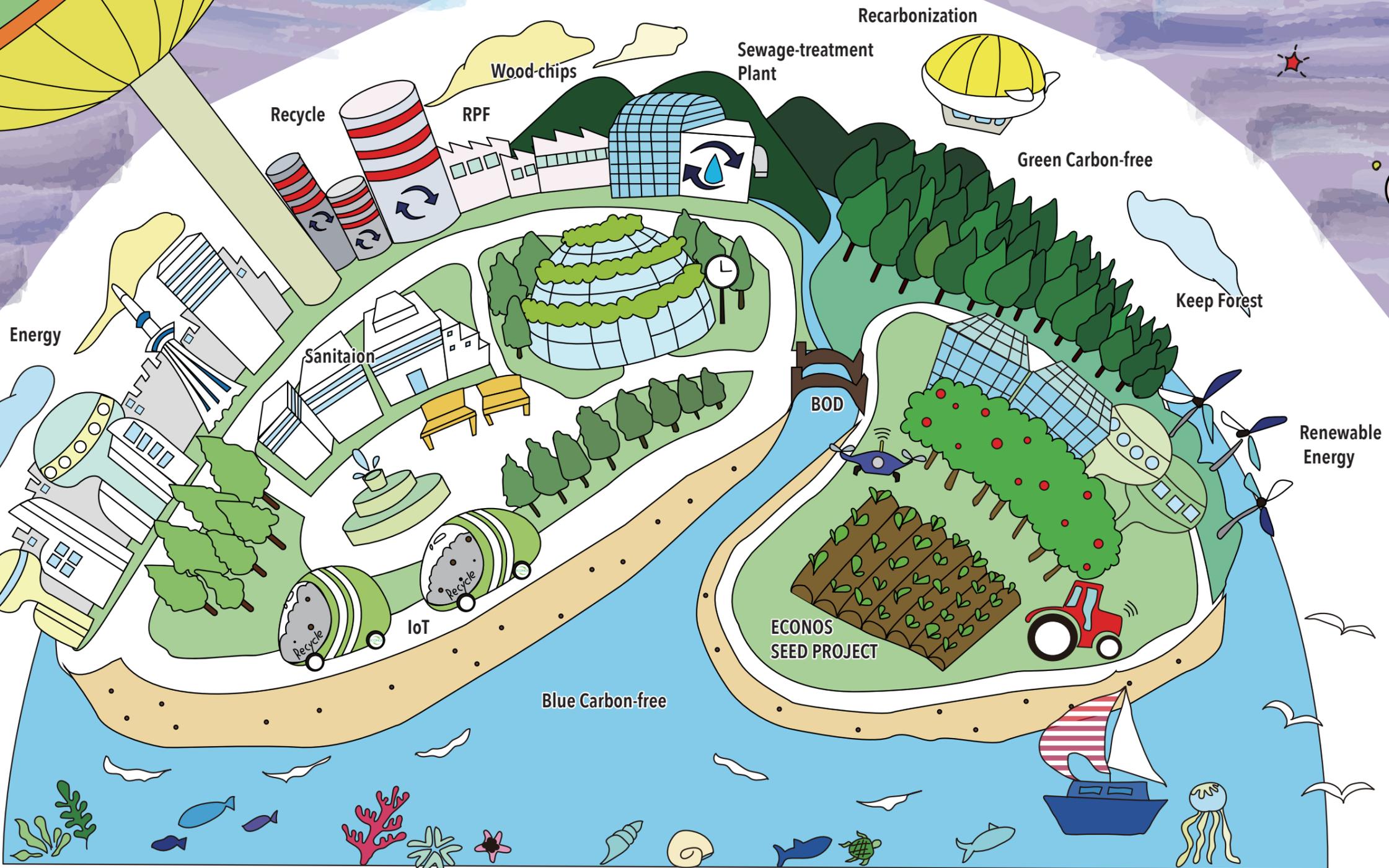
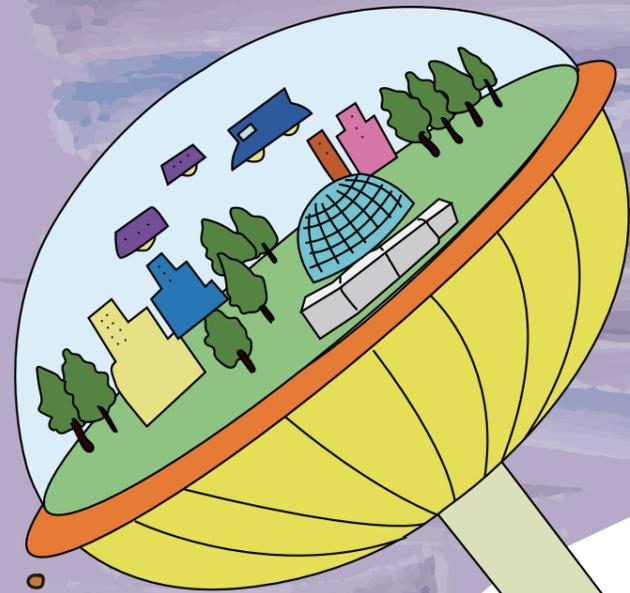
3、働き方改革の促進

働き方改革を進め、①コンプライアンス整備によるガバナンスの構築、 ②アライアンス強化による働きやすい職場環境づくり、 ③社員がリライアンスを背景に自己実現や社会貢献を通して『いきがい』を持ち、社会から信頼される『いい会社』へ成長していくことを目指します。



NEXT STAGE

Carbon-free society





Change

※BOD 1.0mg/L

浄化槽排水・下水処理

>> 水環境をかえるこ

場放水基準値を守る

とでCO₂削減



浄化槽清掃



浄化槽維持管理



下水処理場施設管理



集落排水処理施設管理



トイレリフォーム



トイレ滅菌・消毒

サニタリング事業



アメニティ事業



ブルーカーボン事業



鮎放流活動



海洋プラ問題

山陽学園へ
ゴミ袋を提供



下水道管理



芦田川水系
生活排水が混ざる川
BOD 1.3mg/L

芦田川水系
鮎が生息する川
BOD 1.0mg/L

※BOD…水中の有機物が好気性微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量で河川の有機汚濁を測る指標

2020

2030



Product

Fuel 55万t

廃棄物を利用した再生

>> 電力エネルギーをつ

燃料の製造

くすることでCO₂削減



仙台工場



RPF製造風景



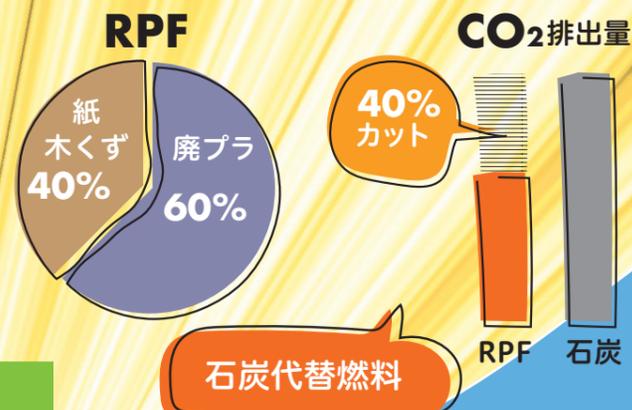
鶺鴒工場



岡山工場



新福山工場



55万t

フラフ (廃プラ破碎燃料)



6万t



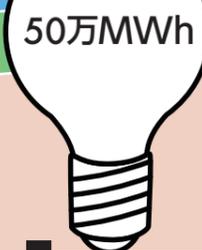
木質チップ



RPF



海外事業



50万MWh

広島県 全124万世帯の

約53日分の電力

2020

2023

2028

2030

170万MWh

広島県 全124万世帯の

約半年分の電力





Keep Forest

TDL※×600

適正処理によるリサイクル
 >> 森林をまもること

率の向上、埋立処分量の削減
 でCO₂削減



※TDL (東京ディズニーランド) の面積約46.5万m²



埋立処分場



埋立処分量

2,364t



バイナリースカイ焼却炉

リサイクル率89.9%

2020



家電解体



破碎機



自動選別



選別ライン



焼却物の完全リサイクル=スラグ化

東京ディズニーランド
 600個分の森 (Forest) を
 まもる

300t以下

リサイクル率100%

2030

環境教育活動の
展開

『見る、する、考える』エコノ
スSEEDプロジェクトを展開
≫ = 『地域や地球の環境

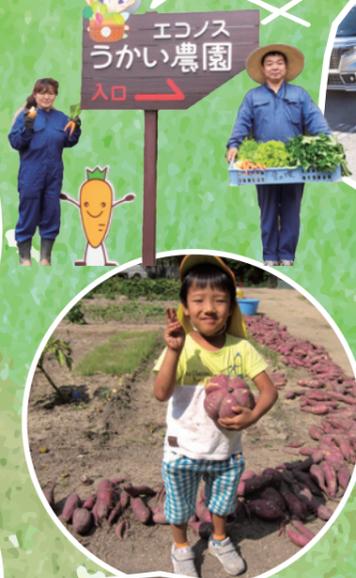
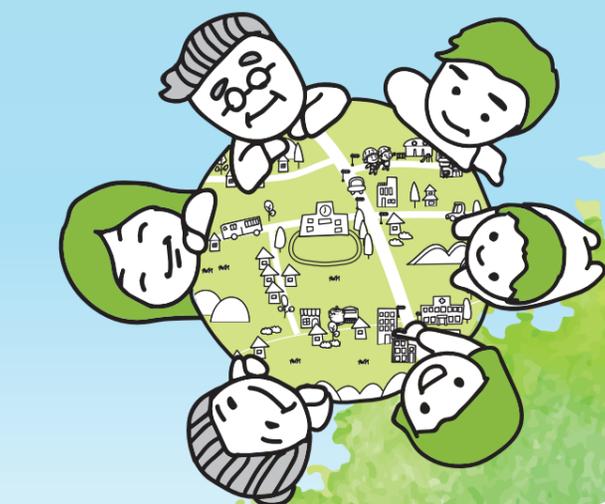
スSEEDプロジェクトを展開
保全を推進する人財』の育成



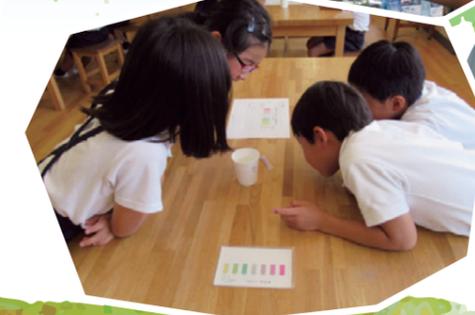
2020
地域・行政・企業と
連携した教育



2030
海外で出前授業



考える



2020

2030



働き方改革

ガバナンスの構築、働きやすい職場環境づくり、自己実現や社会貢献から信頼される『いい会社』へ成長

『いきがい』を持ち、社会が

場環境づくり、自己実現や社会貢献から信頼される『いい会社』へ成長



オガワエコノス行動計画 2020年4月～2025年3月

2020年4月～2025年3月 次世代

- ① 家族工場見学の継続による家族間、社員交流の場と環境学習の場の提供
- ② SDGsの取組みとして、地域、学校、行政と連携した環境教育活動を支援し、「地域の環境を守る人材」を育てるといった地域貢献活動の実施



2020年4月～2025年3月 女性活躍

- ① 制度上のコース設定を「職務別コース」から「働き方別コース」にシフトする
- ② 役割と評価基準を見直し、個から『組織』へ、生産性+『成果創造』へシフトする
- ③ 『能力発揮の場』『選択機会の場』を提供する



オガワエコノス行動計画 2015年4月～2020年3月

① 育児休業の取得率の向上

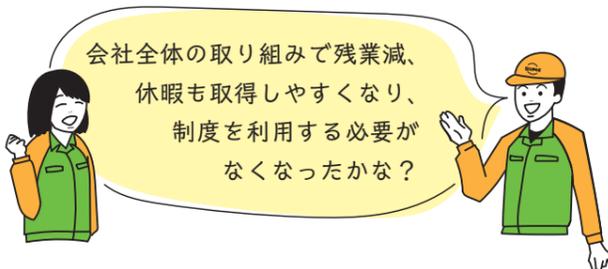
目標 男性社員…計画期間中に1人以上取得→達成
女性社員…取得率75%以上→達成

男性育児休業取得者数	2017年度	0名
	2018年度	2名
	2019年度	6名



② 3歳以上小学校就学前の子を持つ社員の時間外労働制限制度の利用率の向上

目標 男性社員…計画期間中に1人以上利用→未達成
女性社員…利用率50%以上→未達成



③ 年次有給休暇の取得率向上

目標 1人あたり平均年間10日以上→達成

年次有給休暇取得者数	2017年度	6.8日/人
	2018年度	7.9日/人
	2019年度	11.5日/人

部署	氏名	計画											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
1													
2		20	5			10			8	6	6	6	25
3		29	4				24	10		21		3	
4		24	6		15	13	14	25		17		0	

④ 家族工場見学の継続実施による親子交流の場の提供

目標 毎年家族工場見学を実施する→達成

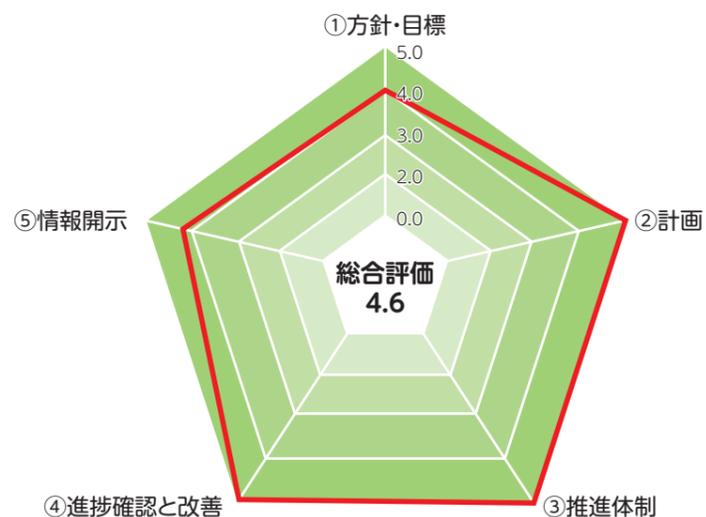


外部機関によるSDGs推進評価

SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できる



組織のSDGsへの取り組み姿勢等		
1	SDGsへの貢献に向けた方針・目標	4.0
2	SDGsへの貢献に向けた計画	5.0
3	SDGsへの貢献に向けた推進体制	5.0
4	SDGsへの貢献に向けた進捗確認と改善	5.0
5	SDGsへの貢献に向けた取り組み状況に関する情報開示	4.2
総合評価		4.6



① 方針・目標

企業理念を実現するための経営方針、行動基準、会社方針を一貫して明示していることを評価する。

② 計画

環境や働き方に関する計画を策定。結果とともにCSR報告書で開示している点を評価する。

③ 推進体制

担当役員、総務を中心に、SDGs達成貢献に向けた推進体制を構築。非正規雇用の従業員にも周知している点を評価する。

④ 進捗管理と改善

定期的に進捗状況を確認し、会議で議論して意思決定をしている。社員との定期的な懇談会を実施し、方針・目標・行動計画について情報共有している点を評価する。

⑤ 情報開示

情報量の豊富なCSR報告書、ホームページで積極的に情報発信をしていることを評価する。



SDGs



地域との つながり



保育所・小中学校の トイレの消毒作業

感染予防として、府中市の全保育所・全小中学校のトイレの消毒・滅菌作業をボランティアで行いました。これからは地域の方の安心安全な生活を守る取組みを続けていきます。



出前授業

地域の小学校、中学校で講師として、教科書リサイクル、牛乳パックリサイクルや水環境の出前授業を行っています。



道路清掃

本社・各工場で道路清掃を行っています。今年で19年目になります。



朝市開催

毎月第4土曜日に本社駐車場で朝市を開催しています。地元の農家の野菜を販売しています。



職場体験&企業見学会

中学生の職場体験・高校生の企業見学を受け入れています。働くことについてはもちろん、学生生活や就活についてもアドバイスをしています。



食育体験

地域の方々の協力のもと、地元小学生の田植え・稲刈り体験をはじめ、園児たちによる芋植え・芋ほり体験をエコノス農園で行っています。



地域ストレッチ教室

地域の方を対象に、無料でストレッチ教室を開催しています。指導は契約したインストラクターの先生が行っています。

動いて
笑って
脳トレ!



アルミ缶表彰

アルミ缶リサイクル協会主催のアルミ缶回収協力者表彰に、地元のを推薦させて頂いています。今後も地域の環境活動をサポートしていきます。



環境イベント

地元の環境イベントに参加し、ゲームやHDD解体などでリサイクルについて身近に考えてもらいます。



ラジオ出演

毎月ラジオに出演し、ゴミや排水に関する情報提供を行っています。地域行政の方々と一緒に出演して県の取り組みなども紹介しました。



高齢者支援事業

高齢者宅のゴミ収集を行います。女性の作業員が訪問するので、安心して利用していただいています。





3 すべての人に健康と福祉を



社員ストレッチ指導

インストラクターの指導のもと、社員対象のストレッチ教室を行っています。様々なテーマの中から希望するストレッチに参加できます。



17 パートナシップで目標を達成しよう



レク委員によるイベント開催

各部署の社員が交流する場としてイベントを企画し、1回目はボウリング大会を開催しました。



3 すべての人に健康と福祉を



健康講話

今回は「禁煙」「健診結果の振り返り」をテーマに、健康講話を実施しました。



17 パートナシップで目標を達成しよう



エコノスまつり開催

- 開催日 / 11月24日
- 参加人数 / 235名

初めての企業祭を開催しました。社員と家族を対象に、ゲームや工場見学を行い、楽しい交流の場となりました。



毎年、恒例にしたい!

おっきいの取れた!

Ээжээ, энэ бол хатуу түлш юм (お母さん、これが固形燃料です)

おめでとうございます

8 働きがよいも経済成長も



エコノスブランドの生い立ち

創業までの道のりとエコノスブランドの生い立ちを全社員に説明し、企業理念・経営方針に基づいた行動を再確認しました。

ブランドの確立 (平成の時代)

ECONOS 株式会社 オカワエコノス

令和の時代は進化をしたい

SDGs 企業合併

100年企業へ いい会社 安心・安全

社員の働き方 高齢化対応 健康経営

そのために、今一度、しっかりと理解・行動してほしい

8 働きがよいも経済成長も



エコノスアワード

「考動・提案」「安全」「笑顔」「あいさつ」「6S」「働き方改革」「情報共有」をキーワードに社員表彰制度を導入しています。



11 住み続けられるまちづくりを



災害対応マニュアル作成

災害に備えて、災害対応マニュアルを作成し、社内で共有しました。



3 すべての人に健康と福祉を



メンタルサポート

社員との相談窓口を設け、専門家と連携したメンタルサポート体制を強化しました。

エコノスメンタルサポート体制強化!

メンター 治療 産業医 専門医

1 オフィスプロスタジオ 羽野先生 (ヨガ指導員)

2 ホリスティックブレイン学院 林原先生 (心理カウンセラー)

小さな事でも抱え込まずにご相談!



● RPF生産量

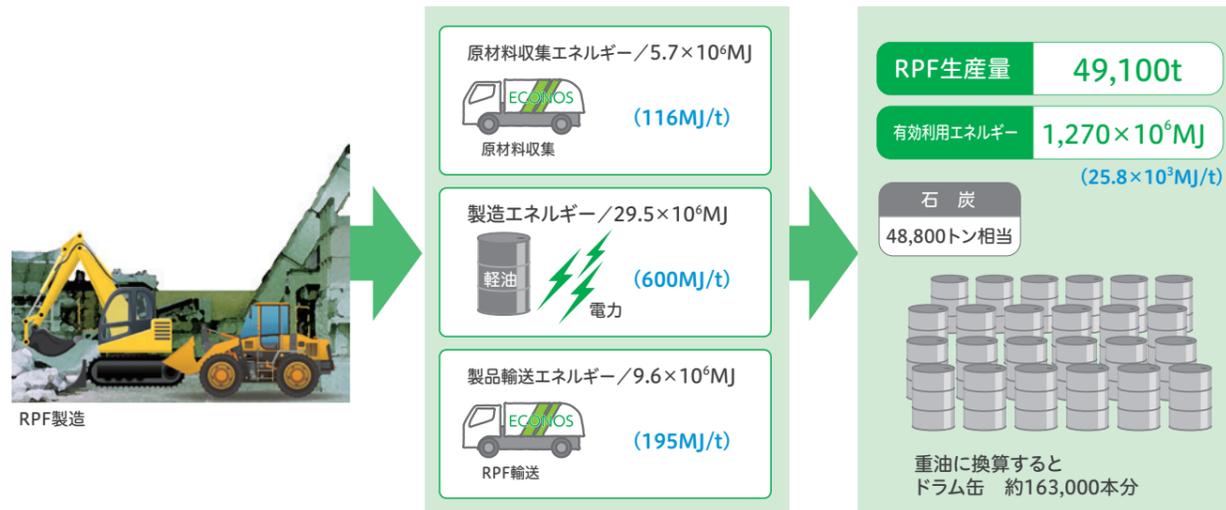


● 2019年度エネルギー収支

■ RPFの保有エネルギー



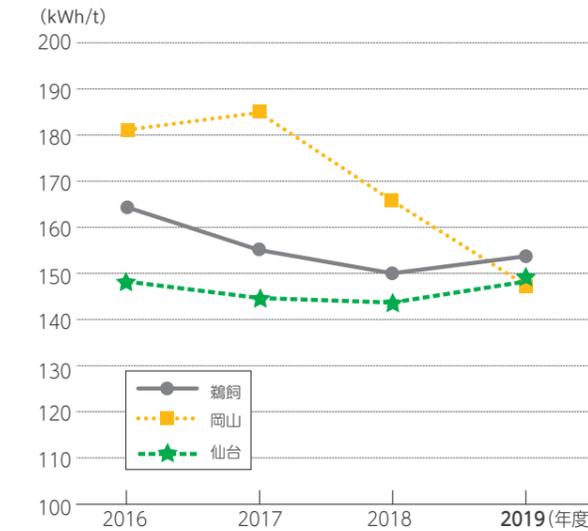
■ RPFを製造するまでに使用したエネルギー



参照単位: 経済産業省資源エネルギー庁 総合政策課「2018年度以降適用する標準発熱量・炭素排出係数一覧表」

● 電力原単位低減

年度	鶴岡	岡山	仙台	3工場平均
2016	164.4	180.5	149.8	164.9
2017	156.0	184.7	145.4	162.0
2018	150.0	167.7	144.0	153.9
2019	154.6	148.5	149.2	150.7



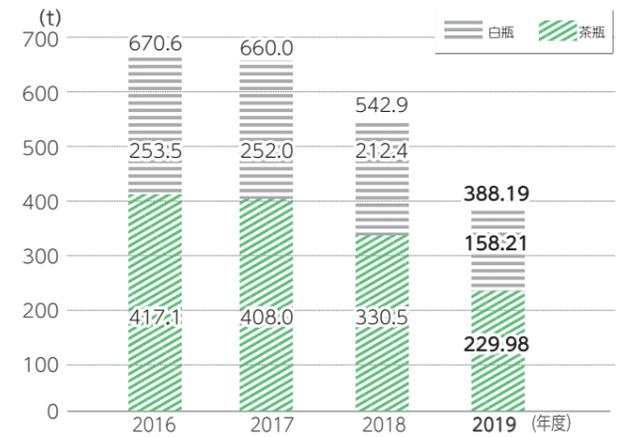
● 古紙



● ペットボトル

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
ペットボトル(t)	300.9	359.9	347.5	303.4
出荷数(本)	4,815,040	5,759,200	5,560,800	4,854,400
作業服換算(着)	601,880	719,900	695,100	606,800

● ガラス瓶



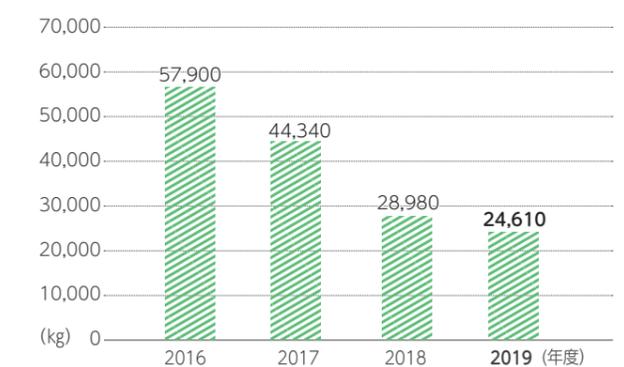
● アルミニウム

エネルギー消費量	12,088世帯の1ヶ月の使用電力			
23,281GJ 節約	363万 kWh			

アルミニウム	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
回収量(t)	205.4	251.1	262.2	217.4
節約(GJ)	21,996	26,892	28,080	23,281
電力量(万kWh)	343	419	437	363
世帯数(戸)	11,421	13,962	14,583	12,088

注1) 一般世帯の1ヶ月当たりの使用量 300kWhで換算しています。

● 食品リサイクル(「食の環エコたい肥」製造)



● フロン回収(冷蔵庫・エアコン)

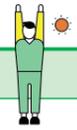
冷蔵庫	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
解体数(台)	811	1,042	1,700	1,134
フロン回収(kg)	16.4	31.2	51.0	22.7

エアコン	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
解体数(台)	161	204	342	225
フロン回収(kg)	17.8	18.3	31.0	20.25



● 2019年度 労働安全衛生の取り組みと結果

サイト・部門	目 標	結 果
本山リサイクル	過去事例に関する危険予知活動を年間2回実施する 重機運転に従事するパート社員に対し危険予知活動を年2回実施する	年2回活動を実施し達成 年2回活動を実施し達成
本山収集	危険予知活動を年間2回実施する(過去事故事例から学び事故の再発防止につなげる) 作業教育活動を年間2回実施する(バック事故が多発しており、抑制のため教育する)	年2回活動を実施し達成 年2回活動を実施し達成
本山焼却	危険予知活動を年間2回実施する(過去事故を学ぶことで再発防止につなげる) 作業教育活動を年間2回実施する(人員の入替わりや追加に対する安全作業教育)	年2回活動を実施し達成 年2回活動を実施し達成
鶺鴒工場	働き方改革を進め、心身的にゆとりを持つことで、けがや事故の防止に努める。 重大事故を除く軽微なけが、事故を1件以下にするために過去事例復習年8件 巻き込まれ事故の防止を図りつつ、全体の事故防止に努める 重大事故0件のために、情報共有年10回実施	年8件実施し達成 年10回実施し達成
岡山工場	<安全意識で、社員力をアップする>※四半期に一度(年4回)他社で起きた事故事例を選び、KYTトレーニングを行い事故防止に努める 収集時・収集車輛を含め危険箇所を見つけ出し、四半期に一度改善を行う	年4回実施し達成 四半期ごとに実施し達成
仙台工場	四半期に1回以上過去事例の復習をおこない、事故の防止に努める 危険予知活動を毎月おこない災害発生時の抑止に努める	四半期ごとに実施し達成 毎月実施し達成
東京営業所	新人育成の中で、メンタルヘルス対策を行い労働災害の防止、情報収集年2回、チェック年2回実施	各年2回活動を実施し達成
本社総務・事務 本社営業	業務の多能工化を進め、残業時間の平準化と休みやすい状況を作る。マニュアル作成50件 メンタルヘルスによる労働災害の防止(面談によるフォローを年4回実施)	51件作成し目標達成 年4回実施し達成
アクア管理	バック事故に対して安全行動を再確認する、過去事故の対策を再確認を行う(年4回実施) 1人1人の安全意識の向上。安全運転自己評価表で診断を行う(年4回実施)	年4回実施し達成 年4回実施し達成
アクア排水 ソリューション	事故の影響から予測される車両・人の不足等のサービス性・信頼性の低下リスクを未然に防ぐため、自部門内で安全パトロールを毎月実施する。 排水Sとして特に作業頻度の高い上記3項目の特定危険源A,B,Cに該当する作業・または類似する作業に対し、事故予防のための改善活動を年間計6件行なう。	毎月実施し達成 年間6件実施し達成
アクア業務	急なバックにより、後ろを通行していた人をひいて大けがをさせてしまう事故防止で教育年2回・訓練年2回実施 客先での事故防止(顧客の信頼を失い、契約解除のリスク)に関する教育を年4回実施	各年2回活動を実施し達成 年4回実施し達成
福山工場	安全を考えたルート改善を年3回実施する(安全第一を考えた業務見直し、効率化を図る) パート戦力化に伴う安全作業教育を年3回行う(人員の入替わりや追加に対する安全作業教育)	年3回実施し達成 年3回実施し達成



● 安全パトロールについて

パトロール日	対 象	指摘件数	要改善数	改善内容
4月25日	鶺鴒工場	3	0	
5月9日	福山工場	4	0	
6月27日	本山工場	5	2	耳栓着用と照度不足について
7月2日	本社・アクア安全週間	21	-	片付けについて
7月2日	鶺鴒工場安全週間	17	-	整理整頓、表示など
7月2日	本山工場安全週間	39	-	整理整頓、塗装など
7月2日	福山工場安全週間	15	-	表示、置場など
7月3日	岡山工場安全週間	6	-	駐車、表示について
7月4日	仙台工場安全週間	16	-	補修作業、整理整頓など
8月21日	アクア管理	17	0	
9月25日	仙台工場	8	0	
11月28日	本山工場	35	4	整理整頓、耳栓着用
12月10日	本社・アクア年末	9	-	置場状況など
12月10日	鶺鴒工場年末	27	-	場内表示など
12月10日	本山工場年末	50	-	整理整頓、表示など
12月11日	岡山工場年末	6	-	置場など
12月12日	福山工場年末	6	-	置場、表示など
12月25日	アクア業務	6	1	ホース作業手順
1月26日	本山焼却	30	1	補修箇所
2月26日	本山プラ	19	1	消火器周り
3月19日	本山家電	25	0	



● 2019年度 環境への取り組みと結果

サイト・部門	目 標	結 果
本山リサイクル	収益性の改善のため、パート重機作業者を現状の0名から3名へ増員する(3名増) 工場排水による環境破壊の未然防止、溝清掃年3回実施	重機運転教育3名終了し達成 溝掃除3回実施で達成
本山収集	スポット収集件数の増加を昨年(4898件)以上 コースの見直しを行い、効率化を図る(年間6コース)	2月末で5169件で達成 6コース実施し達成
本山焼却	依頼増に対応できるよう、焼却Gにおける処理平均値を年平均で1.06t/hに向上させる(昨年度実績1.05t/h)※年平均値1.06t/h以上で達成 確実に処理をするため、四半期に一度焼却炉停止防止のための教育を行う	年平均1.168t/hrで達成 四半期ごと勉強会実施で達成
鶺鴒工場	コンプライアンスを重視した適正な廃棄物処理の維持管理で訓練と要因説明年2回 突発トラブル通算1.5時間、RPF生産性2.85t/時間以上	各年2回実施し達成 突発トラブル通算1.5時間で達成 生産性平均2.89t/hrで達成
岡山工場	重大な設備トラブルが増加しないよう設備メンテナンスを強化する(毎月実施) 生産能力向上によるエネルギー削減※2019年度の平均値2.85t/h以上で達成	点検メンテナンス 毎月実施で達成 平均値2.86t/hrで達成
仙台工場	適切な処理を実行し安定した搬入促進をおこなうためにRPF原料の品質改善活動をおこなう(毎月実施) 生産性向上によるエネルギー削減を進めるため、RPF製造設備のメンテナンス活動を強化する(毎月実施)	毎月実施し達成 毎月実施し達成
東京営業所	廃棄物発生増により、受入先の減少、またリスク増加に対する対策として新たなネットワークの構築を実施する。案件化及び契約4件	4件契約4件実施で達成
本社総務・事務	エコノスの環境教育の広報と実施(年11件)	累計14件配布し達成
本社営業	ネットワーク構築(収集運搬業者、処分業者)新たなネットワーク先を構築することで、廃棄物の処理における安定化を図る。案件化年3件	案件化7件で達成
アクア管理	水質悪化による風評被害、お客様の清掃拒否理由を集計し話法の改善を行う(年4回実施) 効率化の活動を活性化、グループ管理により効率を上げる(年10回実施)	年4回実施し達成 年10回実施し達成
アクア排水 ソリューション	事後保全のみでなく、予防保全の提案を推し進め、付帯業務提案件数の増加を図る。新規案件を年間計164件 お客様に設備や水質に対しての関心を持って頂く事で、停滞案件の改善を図る。停滞案件を昨年86件から年間計1割減(約9件)	目標164件に対し173件で達成 目標9件に対し実績11件で達成
アクア業務	残業時間削減・有給取得率増加によるサービス品質低下を防ぐための教育年4回と訓練年2回 作業ミス・確認不足による追加作業の発生を抑制するための教育年2回と訓練年2回	教育4回、訓練2回実施し達成 各年2回実施し達成
福山工場	重機作業者を現状の1名から3名へ増員する(2名増) (パート社員の多能工化により欠員対応、及び利益増) 効率的な収集を行う見直しを年4回実施する	2名取得し達成 年4回見直し実施し達成

● エネルギー使用データ

■ 2019年度 電力・燃料使用量

	本社	本山工場	鶺鴒工場	福山工場	岡山工場	仙台工場	他支店
電力100V(kWh)	64,094	-	-	-	-	-	15,890
電力(kWh)	2,233	1,114,374	2,614,188	57,450	2,608,466	2,553,579	3,691
燃料軽油(リットル)	107,890	281,463	51,869	36,532	60,346	52,715	-
燃料A重油(リットル)	-	20,000	-	-	-	-	-
燃料灯油(リットル)	-	450	-	-	-	301	-
燃料ガソリン(リットル)	42,816	2,325	-	547	1,672	2,220	-
水道(m ³)	3,160	1,899	28,162	316	3,485	3,153	250

※電力は本社・支店200V、工場6,600V



● 内部監査について

監査日	対象	不適合	内 容
2019年8月1日～8月29日	全社	5件	計画未記入・漏れ・未実施、社内ルール未順守

● 外部監査について

	審査日	不適合	内 容
ISO14001	2019年10月29日～11月1日	なし	
ISO45001		マイナー1件	事故報告書の効果結果の確認が未実施



● マネジメントレビューについて

2020年3月16日開催※

	適切、妥当かつ有効であるか	改善、変更の必要性	必要な場合の指示
環境マネジメントシステムについて	ある	なし	
継続的改善が必要か		なし	
資源を含む環境マネジメントシステムについて		あり	環境・労働安全方針を変更ヒヤリハットが少ない。ピットの清掃をしっかりとお願いします。
環境目標が達成されていない場合の処置		なし	
他の事業プロセスへの環境マネジメントシステムの統合を改善するための機会		なし	
組織の戦略的な方向性に関する示唆	今後もしっかりやって、他社との差別化につなげてください。		
労働安全衛生マネジメントシステムについて	ある	なし	
継続的改善が必要か		なし	
資源を含む労働安全衛生マネジメントシステムについて		あり	環境・労働安全方針を変更バック、破損事故については意識を高めてほしい。
労働安全目標が達成されていない場合の処置		なし	
他の事業プロセスへの労働安全衛生マネジメントシステムの統合を改善するための機会		なし	
組織の戦略的な方向性に関する示唆	社員の人が働きやすい環境を整えて、長く勤めてもらえるようにしていきたい。		



※上記に加えて45001 受審前臨時レビュー 2019年9月16日実施

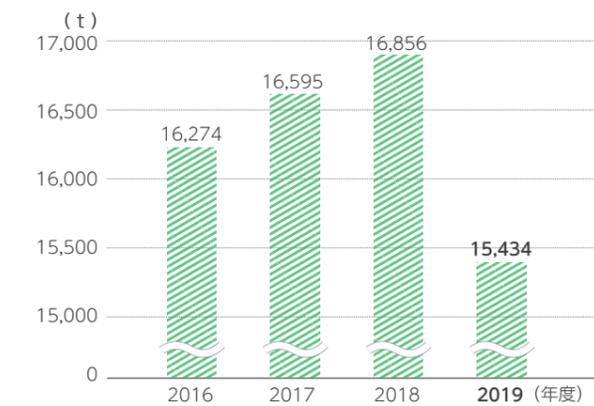
● 産業廃棄物の処分量等

2019年度の産業廃棄物の収集運搬および処分量データです。RPF固形燃料として処分されたのは、重量で全体の74.1%を占めます。

■ 2019年度 産業廃棄物収集運搬量

品 目	重量 (t)
廃プラスチック類	6,669
木くず	5,176
金属くず	972
ばいじん	586
汚泥	533
動植物性残さ	350
感染性廃棄物	342
紙くず	318
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	230
廃油	139
燃え殻	56
がれき類	21
廃アルカリ	16
鉱さい	13
廃酸	6
繊維くず	6
特管廃油	1.0
特管廃アルカリ	0.05
特管廃酸	0
合計	15,434

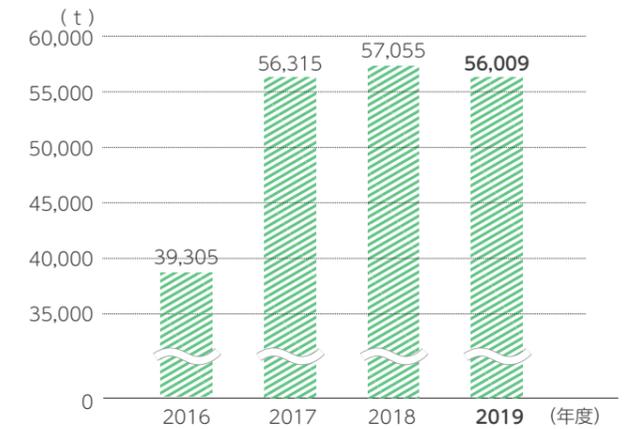
■ 産業廃棄物収集運搬量の推移



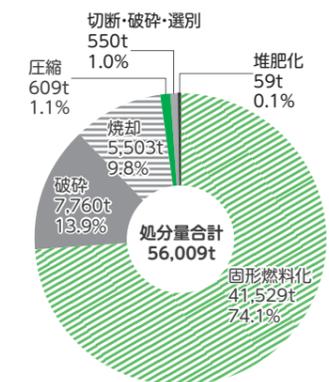
■ 2019年度 産業廃棄物処分量

品 目	重量 (t)	割合 (%)
廃プラスチック類	33,390	59.6
木くず	12,070	21.6
繊維くず	5,006	8.9
紙くず	1,339	2.4
廃油	1,304	2.3
金属くず	1,248	2.2
汚泥	614	1.1
感染性廃棄物	394	0.7
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	313	0.6
動植物性残さ	216	0.4
燃え殻	46	0.1
廃アルカリ	65	0.1
特管廃油	3	0
廃酸	0.6	0
特管廃アルカリ	0.05	0
特管廃酸	0.004	0
合計	56,009	100

■ 産業廃棄物処分量の推移



■ 2019年度 産業廃棄物処分方法内訳





● 一般廃棄物の処分量等

2019年度一般廃棄物の収集運搬および処分量のデータです。

■ 2019年度 一般廃棄物収集運搬量 (単位 t)

品名	委託業務	家庭・事業系	合計
可燃ごみ	2,196	3,174	5,370
資源ごみ	923	464	1,387
粗大ごみ	382	405	787
RPF原料	0	2,379	2,379
古紙・他	66	6,900	6,966
合計	3,567	13,322	16,889

■ 2019年度 本社工場のリサイクル率 (単位 %)

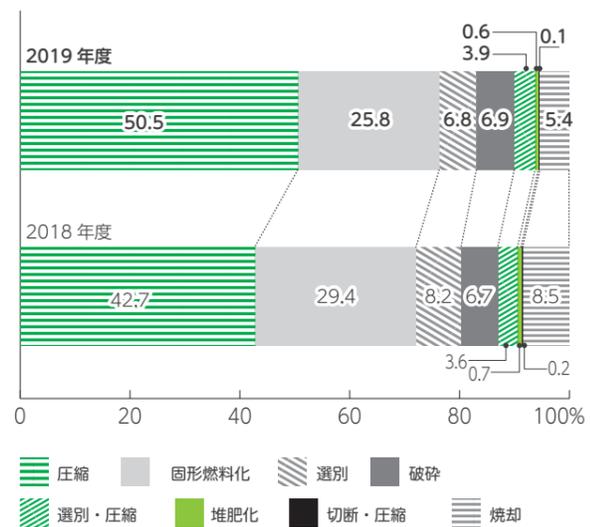
品名	2018年度	2019年度
全体	94.0	89.9
粗大	96.1	87.9
資源	94.0	93.0
家電	87.2	88.9

■ 2019年度 一般廃棄物処分量 (単位 t)

処分方法		本社工場	鶴岡工場	福山工場	岡山工場	仙台工場	合計
圧縮	古紙		5,087	2,282		2,311	9,680
	紙くず		400				400
	廃プラスチック		2,579		85	12	2,676
	木くず		1,686				1,686
固形燃料	繊維くず・他		90			99	189
	PET・プラスチック		608				608
選別・圧縮	紙容器		132				132
	可燃ごみ	1,034					1,034
焼却	生ゴミ	109					109
堆肥化	ビン・缶・PET	1,306					1,306
選別	PET				20		20
破碎	粗大ごみ・他	1,298					1,298
	金属くず	21					21
切断・圧縮	合計	3,768	10,582	2,282	105	2,422	19,159

■ 2019年度 一般廃棄物処分方法による割合

方法	2018年度		2019年度	
	処分量(t)	割合(%)	処分量(t)	割合(%)
圧縮	7,292	42.7%	9,680	50.5%
固形燃料化	5,028	29.4%	4,951	25.8%
選別	1,404	8.2%	1,306	6.8%
破碎	1,152	6.7%	1,318	6.9%
選別・圧縮	621	3.6%	740	3.9%
堆肥化	114	0.7%	109	0.6%
切断・圧縮	26	0.2%	21	0.1%
焼却	1,453	8.5%	1,034	5.4%
合計	17,090	100%	19,159	100%



● 環境測定データ

■ 測定結果

場所	項目	結果	単位	規制値	測定日	分析機関
焼却炉	ばいじん	不検出	g/m3N	0.15	2019年6月28日	JFE西日本ジーエス
焼却炉	塩化水素	28	mg/m3N	700	2019年6月28日	JFE西日本ジーエス
焼却炉	硫酸酸化物	0.0029	m3N/h	17.5(K値)	2019年6月28日	JFE西日本ジーエス
焼却炉	窒素酸化物	85	ppm	250	2019年6月28日	JFE西日本ジーエス
焼却炉	水銀	1.7	μg/m3N	50	2019年6月28日	JFE西日本ジーエス
焼却炉	ダイオキシン	0.42	ng-TEQ/m3N	5	2019年6月27日	JFE西日本ジーエス
本社工場	騒音	66	dB	70	2019年6月20日	JFE西日本ジーエス
本社工場	振動	38	dB	70	2019年6月20日	JFE西日本ジーエス
本社工場	臭気	10未満	臭気指数	10~21	2019年6月13日	JFE西日本ジーエス
福山工場	騒音	61	dB	70	2020年2月21日	JFE西日本ジーエス
福山工場	振動	30未満	dB	70	2020年2月21日	JFE西日本ジーエス
鶴岡工場	騒音	62	dB	70	2019年6月20日	JFE西日本ジーエス
鶴岡工場	振動	42	dB	70	2019年6月20日	JFE西日本ジーエス
鶴岡工場	臭気	10未満	臭気指数	10~21	2019年6月20日	JFE西日本ジーエス
岡山工場	騒音	54	dB	70	2019年4月15日	西日本環境測定
岡山工場	振動	50	dB	65	2019年4月15日	西日本環境測定
仙台工場	騒音	57	dB	64	2019年7月22日	エヌエス環境
仙台工場	振動	34	dB	60	2019年7月22日	エヌエス環境
本社ピット	BOD	1.9	mg/L	160	2020年3月10日	日本総合科学
本社ピット	COD	3	mg/L	160	2020年3月10日	日本総合科学
本社ピット	SS	2	mg/L	200	2020年3月10日	日本総合科学
本社ピット	T-N	0.8	mg/L	120	2020年3月10日	日本総合科学
本社ピット	pH	7.5	-	5.0-9.0	2020年3月10日	日本総合科学
本社浄化槽	BOD	14	mg/L	20	2020年3月5日	広島県環境保全センター

● 汲み取り・浄化槽・下水処理場作業量

■ 汲み取り

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
芦田川水系	5,380	5,219	5,182	4,984
江の川水系	776	732	748	732
合計	6,156	5,951	5,930	5,716

■ 浄化槽清掃

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
芦田川水系	18,600	19,103	18,157	18,920
江の川水系	2,944	2,906	2,814	2,818
高梁川水系	2,605	2,818	2,789	2,895
合計	24,149	24,827	23,760	24,633

■ 維持管理の委託を受けた浄化槽 下水道施設の基数

	設備の能力	維持管理件数
みなし浄化槽	5-10人槽	4,045
	11-50人槽	614
	51-500人槽	51
	501人槽以上	0
合併浄化槽	5-10人槽	5,357
	11-50人槽	211
	51-500人槽	95
	501人槽以上	6
下水道		4
合計		10,383

▶日本の歴史



▶トイレ・ゴミの歴史



▶オガワエコノスグループの歴史

1952 ● 小川衛生社設立 し尿収集・ごみ処理業務開始	1997 ● 株式会社オガワエコノスに社名変更	2004 ● 東京事務所開設	2009 ● カarbonオフセット事業開始
1965 ● 小川興業株式会社として法人登記 浄化槽維持管理業務開始	1999 ● 大気汚染防止法適合焼却炉設置	2005 ● 岡山工場新設 RPF 固形化燃料製造設備の稼働開始	2011 ● 優良産廃処理業者認定取得
1981 ● 廃棄物資源化工場の完成 業務開始	2000 ● 本山工場において ISO14001 認証取得	2006 ● 仙台工場新設 RPF 固形化燃料製造設備の稼働開始	2012 ● P マーク取得
1983 ● 産業廃棄物中間処理業の許可取得	2003 ● 鶴飼工場新設 RPF 固形化燃料製造設備の稼働開始 食品残渣堆肥化施設の稼働開始	2007 ● 日本ウエスト株式会社と業務提携 S&P 格付け「aaa」取得	2014 ● OHSAS18001 認証取得
1992 ● 上下公共下水道水質管理センターの諸業務を受託		2008 ● 一般貨物自動車運送事業許可取得	2015 ● RPF の JIS 認証取得
1993 ● 特別管理産業廃棄物処理業の許可取得			2016 ● 焼却施設「バイナリースカイ」 稼働開始
1994 ● 御調町中央浄化センターの諸業務を受託 洗浄循環式移動トイレのレンタル・販売業務開始			2017 ● 有限会社ダイイチ企業と グループ会社
1995 ● 資本金 1,000 万円に増資			2018 ● 福山工場新設 収集運搬（積保）・廃プラ・古紙圧縮 岡山工場 一般廃棄物収集開始

〈売上高推移〉 2017年度/3,272百万円
 2018年度/3,462百万円
 2019年度/3,704百万円
 〈S&P格付け〉 2017年度/a
 2018年度/aa
 2019年度/aa

▶株式会社オガワエコノスの概要

社 名/株式会社オガワエコノス
 代表取締役/小川 勲
 設 立/1952年3月15日
 (法人登記) 1965年4月1日
 資 本 金/1,000万円
 従 業 員/245名(2020年6月30日)

〈営業種目〉

1. 家庭系、事業系廃棄物の収集運搬及び処理・再生に関する事業
2. 污水处理施設及びごみ処理施設等の維持管理業務
3. 浄化槽の維持管理及び清掃に関する事業
4. 管洗浄及び下水、排水等各種ピットの清掃に関する事業
5. ビル等建築物の清掃及び管理業務
6. 污水及びごみ処理設備機器のレンタル、販売及び施工業務
7. 固形燃料製造及び販売

8. 肥料・飼料の研究開発、製造及び販売
9. 一般貨物自動車運送事業
10. 労働者派遣事業
11. 農作業の代行、請負及び受託
12. 農産物、農畜産加工品の生産、貯蔵、運搬及び販売
13. 前各号の仲介及びコンサルタント業務
14. 前各号に付帯関連する一切の業務

〈取引銀行〉
 みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ 銀行、商工中金、広島銀行、
 もみじ銀行、中国銀行、両備信用組合、ゆうちょ銀行
 〈主要取引先〉
 福山市、府中市、尾道市、三次市、庄原市、神石高原町、広島県立高校、
 公共機関、リョービ(株)、王子製紙(株)、日本製紙(株)、フリナップ(株)、
 他多数
 〈加盟団体〉
 府中商工会議所、日本RPF工業会、広島県環境整備事業協同組合、
 広島県清掃事業協同組合、広島県資源循環協会、岡山県産業廃棄物協会、
 宮城県産業廃棄物協会、東京産業廃棄物協会、日本経済団体連合会



株式会社 オガワエコノス

<https://www.o-econos.com/>



事業所

本 社	広島県府中市高木町502-10 TEL.0847-45-2998 FAX.0847-45-5872
本 山 工 場	広島県府中市本山町530-85 TEL.0847-41-5804 FAX.0847-41-5809
鵜 飼 工 場	広島県府中市鵜飼町800-113 TEL.0847-47-6110 FAX.0847-47-6112
福 山 工 場	広島県福山市箕沖町106-3 TEL.084-999-0530 FAX.084-999-0531
岡 山 工 場	岡山県勝田郡勝央町太平台89-8 TEL.0868-38-0530 FAX.0868-38-0531
仙 台 工 場	宮城県黒川郡大和町松坂平8-3-13 TEL.022-796-5380 FAX.022-796-5381
東京営業所	東京都中央区京橋2-11-3服部ビル301号 TEL.03-3563-0530 FAX.03-3563-0533

グループ会社

有限会社ダイイチ企業

広島県広島市安佐北区白木町三田字小椿1521-3
TEL.082-829-1270 FAX.082-829-1283

<http://www.daiichi-kigyo.co.jp/>

